



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく！」
～経営を極めていく企業家集団 会勢700名を達成しよう～

2017年度 合同入社式 開催！！

日時：4月3日(月) 10:30 会場：長崎インターナショナルホテル



長崎県中小企業家同友会として3回目となる合同入社式が、県内6支部12社の会員企業より28名の新入社員を迎え執り行われました。代表理事 松尾慶一さんのお祝いの言葉、県共育委員長 土井幸喜さんのご挨拶、新入社員紹介に続き、午前中は県相談役の平湯湧一さんより「社会人とは」というテーマで記念講演をいただきました。社会人としてだけではなく人として大切なことを新入社員はもちろんオブザーバーも学ぶことのできた1時間でした。昼食を挟んで午後からは雰囲気ガラリと変え次期共育委員長の松本一孝さんが講師となり「ワクワクする人生の作り方」というテーマで4人1チーム(オリエンテーションで簡単なテストで4タイプ分類を行い同じタイプの方とのチーム編成。)のワークショップ型研修を行いました。初対面同士でコミュニケーションを取りながら、自分の考

えを発表していく形式で、これから1年間同じチームで学びを深めていく仲間をお互い知る事のできる内容でした。

最後には28名が1人ずつ前に立ち社会人宣言を「個人」「家族(家庭貢献)」「会社」の3つの分野で発表。それぞれが堂々と頼もしく宣言をされ、これから1年間で3回行われるフォローアップ研修で成長する姿を見ることが本当に楽しみです。フォローアップ研修や合同入社式は新入社員がいらっしゃらない会員企業の方どなたでもオブザーバーとして参加可能です。色々な刺激になること間違いありませんので、ぜひ一度足をお運びください。共育委員一同、心よりお待ちしております。

(文責 長崎浦上支部 大城 あゆみ)



目次

2017年度 合同入社式 開催報告	1	会員活躍	19
3月例会報告	2	事務局企業訪問	20
中同協 第47回 中小企業問題全国研究集会 in 鹿児島 参加報告	9	入会・交代会員紹介	21
中同協 第4回 幹事会及び人を生かす経営推進会議 参加報告	15	5月例会案内	24
2016年度 第3回 新入社員フォローアップ研修 開催報告	16	理事会議事録 抜粋	25
(株)福祉工房K's (佐世保支部 豊福会員) 経営計画発表会 参加報告	17	会員消息・会員数	26
(有)山崎マーク (佐世保支部 山崎会員) 経営計画発表会 参加報告	18		

長崎浦上支部 例会報告

日 時	3月21日(火) 18:00
会 場	サンプリエール
テ ー マ	アドラー流人材育成に 生かすコミュニケーション
報 告 者	arbre 代表者 大城 あゆみ 会員



アルフレッド・アドラーは2013年「嫌われる勇気」の出版で日本の多くの人に知られるようになった心理学者です。そして、「アドラー心理学」は“自己啓発やコーチングの源流”と言われ、世界中の実業家や教育者、心理療法家に影響を与えています。今回の例会では、アドラー心理学をベースとしたコーチングを学んだ経緯や理論を中心に、次の日から職場や家庭で実践できるコミュニケーションスキルをワークショップ形式で体験しました。

通常の例会とは違い、講演の際には椅子を並べて、ワークショップでは、自由に席を移動して周囲の人とペアを組むという形での例会でした。通常とは違う形



であったものの、皆が真剣に楽しく例会に取り組めたのではないかと思います。このワークショップでは日頃意識することのない「原因」と「目的」の追求について学ぶことが出来ました。“なんで？なんで？”と「原因」を突き詰められると人は追い込まれてしまい、十分な意見を出すことができなくなります。そこで、どうすれば少しでもよくなることができるのかという「目的」を追求するコミュニケーションが重要になってくるとのことでした。また、円滑なコミュニケーションを行うために必要なことは非常に簡単なことで、人の発言に対して拍手する・いいねをすることと、最後には全員で椅子を大きな円にして並べ、どうしたら自分自身の改善に繋がるのかという「目的」を発表してもらい、発表者に対して大きな拍手、いいねを行いました。その結果、普段接している人に対しても今までと違う円滑なコミュニケーションに繋がることを学びました。

今後、様々な場面でこのコミュニケーション方法を活かして、自身の成長に繋げていきたいと思います。

(文責 中尾 陽一郎)

長崎出島支部 例会報告

日 時	3月15日(水) 18:30
会 場	サンプリエール
テ ー マ	失敗ウェルカム！
報 告 者	(株)TAF 代表取締役 田中 清隆 会員

田中さんは幼少の頃から東長崎の牧島という小さな港町で育ち、お爺様の漁師の仕事をよく手伝っていて将来は漁師になる事を志していました。しかし、漁師になる事を許されず大学に進学。お父様はと言いますと、ご自身でアルミサッシ屋をやっていてこれが後のTAFの原型になります。大学卒業後、家業との取引業者でもある(株)三和に入社。約半年後にお父様の体調不良もあり、退社し実家に帰り家業を手伝います。



そこから様々な困難や失敗に出くわす中で数名のキーパーソンとの出会いがあります。営業のいろはを教えてもらったY社のK氏。その方からの勧めで行った保険業のK氏のセミナーで人との付き合い方や経営理論など様々な事に感銘を受けます。そんななか、長崎



出島支部の山口憲男さん
に会い入会。ここでも
様々な学びや出会いがあ
る中、社会保険労務士の
山口芳和さん(長崎浦上
支部)に会い経営改善
や各種相談を解決していただきます。失敗を恐れずにとにかくやってみたらひょんな事から情報が入ったり

とにかくやってみたらひょんな事から情報が入ったり

良い出会いがあったり、まさに座右の銘「行き当たり
バッチリ」の通りかと思えます。

グループディスカッションでは「今困っている事は
なんですか?」というテーマで、各々の今抱えている
問題について話してもらい、解決策や改善策を募ると
いうスタイルで討論していただきました。中でも一番
多く挙げられていたのが「人」の問題でした。やはり人
材不足、人材育成に関しては中小企業にとって常に抱
える問題かと思われます。障がい者雇用や外国人雇用
を始めている企業も見られ、そういう方々は出会いや
人付き合いを上手に活かして柔軟に経営に取り組んで
いるのが見受けられました。

懇親会では余興タイムを設け、会員同士の交流が進
み、支部の盛り上がりにつながっていると思えます。

今回は「ご縁」の大切さ、又その活かし方が重要で
あると再確認させられたような例会であったと思いま
す。

(文責 吉田 大祐)

大村支部 例会報告

日 時	3月16日(木) 18:30
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	経営指針策定を経験して気づいた事
報 告 者	チェンジコンサルティング(同) 業務執行社員 宇土 敏郎 会員 (株)竹中建築事務所 代表取締役 竹中 清也 会員



経営労働委員会の主催で経営指針について報告がさ
れました。報告は2部構成で、前半は県経営労働委員
長の宇土さんが経営指針の内容や位置づけについて、
後半は大村支部次期経営労働委員長の竹中さんから実
際に経営指針を作成してみたの体験談の報告がされま
した。

前半の宇土さんの報告では、経営者が同友会に何を
期待して入会するのか、同友会の歩み、活動の追及が
経営指針であるという話がありました。経営指針の中

身として、①経営理念 ②10年ビジョン ③経営方針
④経営計画 ⑤経営指針の実践というステップがあり、
それぞれの内容についても説明がありました。

後半の竹中さんからは、実際に経営指針を作成し実
践した内容が報告されました、竹中さんは、大学卒業
後、お父様が設立した設計事務所に入社し2014年
頃に法人化、代表者に就任され、同じ頃、同友会にも
入会されたそうです。経営理念を作りたいと考えた理
由としては、それまで技術者である建築士として勤務
していたが自分が経営のことが分からないまま経営者
になって、会社の拠って立つ基本的な考え方がなかつ
たので支払に追われるままになっていたからというこ
とでした。先輩からの、経営理念は途中で変えてもい
いという言葉に後押しされて経営理念を作成し、合宿
に参加して経営指針を作成されたそうです。経営理念
においては、公私共にパートナーである奥様の指摘を
うけて笑顔がテーマにされたそうです。経営指針を作
成してみたの感想は、形にすることで自分や社員の意
識が変わり、現状との比較ができるようになったとい
うことです。現在は、経営指針からホームページの
コンセプトの着想を得たり、奥様と一緒に宅建の資格取
得を計画を立てたりしているということでした。

ディスカッションからは、経営理念は変えてもいい
という点に感銘を受けたという意見、経営者自身の理
念が熟成していない段階では経営理念をつくるのは難
しいといった意見、経営指針は必ず会社を変えるので
規模に関わらず明文化するべきだといった意見が出ま
した。

(文責 橋口 仁一)

諫早支部 例会報告

日 時	3月15日(水) 18:30
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	躍動する職場創り
報 告 者	(株)トータル 代表取締役 永木 保史 会員



今回は、東京海上日動のTOPQUALITY代理店を経営されており、他団体においてもアグレッシブに活動されている永木さんに報告いただきました。

永木さんは、厳格な父親の教えに背く事無く、雲仙農業協同組合を退職するまでは父親から言われる事をいやでも受け入れるYESマンで来られたそうですが、職場における矛盾を感じ、今までの父親への反発感もあり、現在の基盤となる東京海上火災保険(株)に入社、2年後には独立をされたそうです。

代理店を経営しながらも、畑違いの経営に手を出すなど無謀とも思える事が何故か上手くいく、そしてそれを自分の成果だと勘違いし、連日のごとく雀荘へ通ったり、人生転落物語もあったそうですが、反発をしていた父親の葬儀の時に自分の息子からお爺さんにあてた一通の手紙が「行動の源泉との出会い」だったそうです。今までの自分の行動を省みて、職場の雰囲気



を見た時に、今回のテーマである「躍動する職場創り」にはほど遠いものがあり、自らを変えなければ周りも変わらないと気付きました。お客様とは社員さんであり、会社であり、メーカーさんであり、自分自身以外すべてがお客様で、感謝の心を常に持ち、感動を提供出来るように日々の行動を変えていったそうです。

職場の雰囲気作りをする為に、朝礼で他人の良い所を褒め、良い所を見つける練習をされているそうです。他人の粗探しは簡単ですが…。また一年の計画を色紙に書き出し、それを基に行動し、翌年に反省するなど自分自身の行動がぶれないような事もされているそうです。私も一年の計画はするものの、半年後は何だったかな?という事がしょっちゅうなので、これは即実践だと思いました。

今回の報告では、真の心の感謝とは何なのか?という事を自問自答させられるようなメンタルに響いてくるような報告でした。

(文責 前田 義幸)

島原支部 例会報告

日 時	3月21日(火) 19:00
会 場	HOTELシーサイド島原
テ ー マ	地方創生 ～自社から変える～
報 告 者	WOODHOUSE(株) 代表取締役 Win With family(株) 代表取締役 氏田 善宣 会員(大分同友会)

一年を締めくくる最後の報告は、大分同友会2015年フォーラムで基調講演をされた氏田善宣さんに日本一の過疎に苦しむ大分県竹田市よりお越しいただき、過疎地域の活性化・組織の活性化をどの様に



実践してきたのかを氏田さん自身の半生や失敗談、そして経営するモツ鍋居酒屋スタッフと共に勝ち取った

「第9回居酒屋甲子園」での優勝という体験談を織り交ぜながらお話いただきました。

地域の高齢化・過疎化は私達の島原半島でも今日そこにある危機であり、事業を営む我々にとっても売上減少など看過できない事態なので参加者も自社での実践に繋げようと皆が耳を傾けて聴いていました。

生まれ育った竹田市を日本一元気な町にしたい！竹田市に「陽はまたのぼる」んだ！との熱い想いを店名に掲げて周囲や銀行の反対を押し切って独立開業。理想とのギャップや挫折に苦しみながらも一生懸命に頑張る姿を見て共感する仲間が次第に増える。売上を上げる為にターゲットを限定しないで小さなニーズを具現化したり、すべての食材を竹田産で賄う為の経営努力や、失敗から学んだ事を全員で共有し一丸となって改善・更なる進化に繋げる等etc.

地域から愛され必要とされるお店になるには120%の準備とおもてなしの心以外に何をすれば良いかをトコトン追究し続けた結果、観光の町でありながら売上の90%は地域住民のリピートという驚異の数字を叩き出す超地域密着店へと成長されたとの事です。そして成長した現在もなお、会社は何の為にあるのか？一人ひとりが出来る地域貢献は何か？地域の未来を照らし続ける希望の光となるには？その答えを全スタッフで模索し続けておられます。

この追究する姿勢を聞いて私は、我々長崎同友会が掲げるスローガンにシンクロしているなあと強く感じ



ました。

- お客様の要望に応えられる店になろう
- 団結して我々の店(地域)を発展させよう
- 組織の力で飲食業の新時代を築こう
- みんなのちえと力で明るい和を上げよう

氏田さんの地域に対する想いに感嘆すると同時に、現在のスローガンを改編し続けて完成させた長崎同友会の先輩方の想いに触れられた様な感動を受けた例会報告でした。

報告後は報告当日移動中に第一子が誕生されたとの事でしたので、サプライズ誕生ケーキをプレゼントし和気あいあいとした懇親会でした。

(文責 永吉 誠)

佐世保支部 例会報告

日 時	3月24日(金) 18:30
会 場	アルカスSASEBO
テ ー マ	同友会と経営計画書と私 ～羅針盤を手に入れ、航海に出よう～
報 告 者	(有)前川建材店 代表取締役 前川 優也 会員



佐世保支部では、長崎同友会第4次ビジョン全会員が経営理念を持ち、会員の80%が経営指針(計画書)



を作成しているという目標に向かって、3年前より佐世保365方式経営計画書策定セミナーを3回実施し、現時点では、毎年8社の経営計画書発表会が開催され、今年度は15社が予定されています。

経営計画書は、主な枠組みとして経営理念・ビジョン・経営方針・中期・単年度経営計画からなり佐世保支部では、さらに経営理念・経営計画書・経営計画発表会を経営3種の神器と呼んで推進しています。経営計画書は大企業などでは当たり前として実践されていますが、中小企業では実践されている会社は少ないという現状です。しかし最近では銀行融資の際にも必要と

なっており、社内で実践・共有出来れば、同業他社を出し抜く大きなチャンスにもなる「This is 経営者の仕事」です。

そして、最後の3月例会で報告していただいたのは、佐世保365方式経営計画書策定セミナーに参加された前川さんです。前川さんは、12月佐世保支部のセミナーをはじめ、2月は県の経営労働委員会主催のセミナー、そして3月は福岡同友会主催の2泊3日セミナーに参加されました。

自己紹介から始まり、商工会青年部や同友会に入会した事など「人生のターニングポイント」について、経営計画書を作成しようと決めたきっかけである、後輩の山崎秀平さんと商工会議所でいろいろな事を教えてくれた先輩などの人生のキーパーソンの方達の話、長崎県・佐世保・福岡の3つの経営指針作成セミナーに参加した体験などを報告していただきました。

同友会を最大限に活かしつつある前川さんのモチベーションの高い報告にゲスト10名を迎えて参加者51名の3月例会となりました。

経営計画書作成は、経営者にとって3つのメリットがあります。①作成に費やす時間の量だけ自社と向き合える。②成文化することで、経営者の覚悟が生まれる。③経営者の会社・社員をプロデュースできる夢のノートとなり、実現できれば求心力の源に。前川さんの経営者としての決意8月経営計画発表会開催が発表されました。

「私たちは『まちづくり』企業です 豊かなまちづくり



に貢献します」という経営理念の実現に向けて、前川さんの報告は、人柄を表しているかのように終始参加者の笑いも誘いつつ、oneゲスト例会としては、最高の結果を得られたのではないのでしょうか。会場の雰囲気も良く懇親会も遅くまで続いた模様です。ゲストの皆様も異業種の経営体験報告に触れられる「最高の教材」がある同友会に興味関心を寄せられ、結果として、早速例会後、2名の方が入会されました。また、前川さんは4月より佐世保支部の経営労働委員長に就任される予定です。

佐世保支部では、これから益々佐世保支部365方式「魔法の0,1の法則」を推進し、会員相互で「This is 経営者の仕事」経営計画書を作成しビジョン達成・経営課題解決を目指して行きます。

(文責 豊福 和明)

北松浦支部 例会報告

日 時	3月16日(木) 18:30
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	ビジョンに向けての取り組み
報 告 者	(有)荒木水産 荒木 大輔 会員

荒木さんは松浦市でカンパチ・トラフグ・ヒラスの養殖・販売を行っています。

荒木さんは私の同業者で地元の大先輩であり、また、目標としている方です。今回その荒木さんが例会で報告を行うと言う事でとても楽しみにしていました。

報告の内容ですが自社の紹介から始まり、養殖業の現状を自社の主な取引先である関東と関西に分けて数値やグラフなどを交えて荒木さん独自の視点から分析した結果を報告されていました。

この現状の分析を聞いて、私は関東と関西では市場の動きが全然違い、相場が安定しない動きとなっている。生き物のようだと感じ、同時に数値とグラフの動きで何処を目指して標準を定めるか？自社の目指す所



がおのずと変わり販売先や販売量を調整しないといけなそう思いました。

次に現状を報告されバランスシートなど非常に突っ込んだ内容となっておりここまで話しても良いのかと少し心配しました。

ここまでで、市場の状況、自社の分析と話しが進み最後はビジョンの報告でした、内容を聞いて荒木さんのデータ元にした緻密さや信念がひしひしと伝わり、会場全体が熱くなりました。



ここで報告は終わりましたが、最後に荒木さんが所属する星鹿町PTAと漁協婦人部、漁協青年部の合同で取り組んで今年初めて実現した「星鹿海の学校」のお話がありました。この「星鹿海の学校」という活動は荒木さんが先頭に立って、食育・命の尊さ・親への感謝・郷土心などを子供に学ばせるという試みです。子供達と船上で釣りをしたり、磯で遊んだり、採ったものを皆で調理して食べる。というような事を行っています。



最後に今回の報告を聞いて、「1本だと不安定でも3本だと安定する」という言葉にとっても共感しました。この言葉に荒木さんの信念と実行力を支えている緻密さなどが垣間見えていたと思います。

私ももっと荒木さんを追いかけて、学んで行かないと行けないと感じました。

(文責 住徳 一洋)

五島支部 例会報告

日 時	3月15日(水) 18:30
会 場	観光ビル はたなか
テ ー マ	「過去・現在・未来の本多兄弟商会」 ～父と叔父からの事業承継と会社の将来～
報 告 者	本多兄弟商会 代表取締役 本多 勝一郎 会員(島原支部)

本多さんは大学卒業後、大手家電量販店に勤められる中で大組織の中では単なる一歯車でしかないと学び、友人の後押しもあり家業を継ぐべく帰省しました。

家業の現状を目の当たりにして父や叔父との価値観の違いに直面し製造や経営について意見の衝突がでてきました。本多さん自身、父、叔父の考え方の違いを丁寧に分析されており、逃げることなく自分の意見を父と叔父にぶつけられ少しずつ変化していく3者の考えをわかりやすくまとめられておりました。参加した会員及びゲストのメンバーも代替わりしたばかりの方や、近い将来代替わりする方が多く、事業承継の難しさ、苦労点、重要さについて大きく共感し、本多さんの大きな課題に対し果敢に取り組む姿勢に感銘を受けた方が多かったように感じます。

報告の後半ではこれから解決しなければならない課題についても触れられておりましたが、本多さんなら着々と進められていくことでしょう。

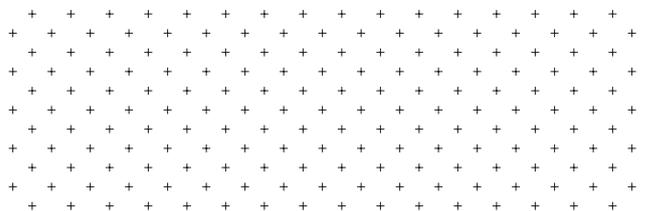
グループディスカッションでは事業承継の苦労や問題点、また会社存続に必要なことについて議論が交わ



されました。活発な討議の中「経営指針」「利益」の重要性について多くの意見が出ていました。

五島支部会員の出席が10名と少なかったもののゲストの皆様、島原支部本多さん、山田さん、永吉さんのお力により活気あふれる例会になりました。また、例会の最後にはゲストで参加された永田さんの入会報告も入り、懇親会、(中には2次会まで)と熱き経営者たちの語りはなかなか静まりませんでした。

(文責 谷川 喜一)



青年経営者会 例会報告

日 時	3月20日(月)(春分の日)
会 場	唐八景公園
内 容	ハタあげ大会(雨のため中止)

唐八景公園にて毎年恒例のハタあげ大会の予定でしたが、気まぐれな天候に振り回されて結局当日の朝、土壇場で中止しました。雨天時は諫早のこどもの城に行く予定だったのですが、その日はこどもの城の開園記念日でイベントもありたくさんの人で混み合うと言われていました。実行委員長と話し合い、断腸の思いで中止を決めました。実行委員長も涙を浮かべて悔しがっていました。参加を楽しみにされていた児童養護施設3園の子どもたち、会員の皆様、誠に申し訳ありませんでした。

今回は青年経営者会会長である私の判断ミスが大きな要因でした。もしこれが会社経営だったら多大な損失に値すると思います。しかし失敗できるのも同友会、そこから学ぶのも同友会。「青年経営者会会長は、青年経営者会という会社の経営(運営)をすることによって組織の勉強ができます。もし失敗しても金銭的な損失はないしそこから学んで自社の経営に反映させられることができます。」と事務局の峰さんと田口さんが言

われていました。

しかしハタあげできなかったことがとても残念でした。園の子たちに会いたかったですし、一緒に楽しい時間を過ごしたかったです。私には子がいないので、とても楽しみにしておりました。中止決定後、園にお弁当とお菓子を届けた帰りに海岸に車を停めて海を見ながら一人で食べたお弁当は、ため息とやりきれない思いが混じり合ってほろ苦く、一生忘れない味となりました。

ところで皆さんは「NPO法人 長崎はばたき支援会」を知っていますか？長崎県には11ヶ所の児童養護施設があります。子どもたちが18歳になって施設を巣立つ時に様々な支援を行っている会です。長崎出島支部の山口憲男さんが2016年1月に設立されました。新しい生活を始めるにはお金と物が必要なのでそれらの支援や、進学や就職をする時、アパートを借りる時、奨学金を借りたい時に保証人等の面で支援をしています。たくさんの方の支援会員を募集しておりますので、ご協力いただける方は<http://habatakishien.org/>をご覧ください。もしくは山口憲男さんにご連絡ください。

(文責 橋本 裕次郎)

ダイヤモンドクラブ 総会報告

日 時	3月11日(土) 18:00
会 場	長崎シティーホテル アネックス3



ダイヤモンドクラブ総会・第2回例会を開催しました。出席者は17名でした。ダイヤモンドクラブは、会暦20年以上の会員・代表理事経験者・現役代表理事で構成されており、現在の会勢はなんと55名です。

今回、富永英則さんから金子寛道さんへと会長のバトンタッチが満場一致で可決されました。

今回、来期並びに2019年開催の長崎全研に向け、ダイヤモンドクラブの果たすべき役割について熱い意見交換がなされました。「同友会は若い時の私のすべて」「同友会で学んでいなかったら我社はない。だからこそ、全研成功に向け、恩返ししないと！」また、前回以上に「我々はOBではない！現役だ！」そして、「ひとりが一人の仲間づくりですぐに55名増員！」「賀詞交歓会のアピールタイムで我々が一番元気が良



かったと評判だった！！」等々たいへん盛り上がりました。

クラブに望む事として「年複数回の開催」や「旅行」という声が挙がり、早速3月26日(後日4月9日に変更)(日)に「観桜会」開催が決定。場所はもちろん30周年・40周年で植樹した島原・深江の桜パーク！皆さん本当にお元気です。「同友会の会合には必ずバッジを付けてくること！」と某副会長が熱く語ると、ダイヤモンドクラブのバッジを作ろう！いや、ネクタイでは！？等々また皆さん白熱されました。

富永さん、これまで本当にお忙しい中たいへんありがとうございました。金子さん、改めてよろしく願いいたします。

(文責 副会長 岩崎 誠一)

中同協 第47回 中小企業問題全国研究集会 in 鹿児島 参加報告

開催日：2月16・17日(木・金) 会場：城山観光ホテル

第1分科会

「中小企業が主役」の日本経済へ

～情勢をどう読み企業経営と同友会運動に生かすか～

嘉悦大学大学院ビジネス創造研究科 研究科長 三井 逸友 氏

諫早支部 石橋 ゆかり

最初から、とても難しいお話しではありましたが、中小企業家同友会がグローバルに活躍して行く時代になってきたのだと思いました。実は、30年前は個性化の言葉があり、「頭脳」でとらえたものが、仕事に生かしていけるのか? 「多様化」が大事という事を言われているが、皆が言ってはいけない。皆、考え方が違っていいのではないのでしょうか? そしてアイデア、個性を取り上げて生かしていかないといけない。

次に激動期に入った世界の中では、現在しっかりそれぞれの企業が目を持っていて、どこに何があるのか、チャンスがあるのかを見ていきましょう。様々なトラブルがあったとしてもこれが、ひとつの答えとは言えない。おしつけない。これが多様化です。

私が参加させていただいた第1分科会は、グローバル化とか、欧州連合の理念そして別のヨーロッパなど本当に世界のさまざまなお話しがありました。その中でも「稼ぐ力」が求められる日本の中小企業と題して「創造」と「革新」は、欠かせなくなっている。私も、こ



れから企業が生き残るとしたら「創造」と「革新」だと思います。またアベノミクスの4年間とは唯一、金融緩和のおかげで倒産は減少したとも…確かに倒産は減少しているのではないのでしょうか?

2013年以降のEU政策の中では、ドイツの取り組みをもっと聞きたいなどの意見が出ました。印象に残ったのは行動指針の中で地域及び社会に貢献できるような体制を整備しないとイケないし、地域経済発展の成否のポイントとしては、積極的な役割を果たして行くと思います。最後に人材育成の重要性について、地域の中小企業が積極的な役割を發揮するべきだということでした。

参加でき、本当に学びの多い2日間でした。ありがとうございました。

諫早支部 馬場 一信

いま、世界と日本の政治経済・社会を考えるから始まり、「激動期に入った世界」何が起こるか予想も出来ないということで、●2008年リーマンショックに端を発した世界経済の動揺と、グローバル金融のもたらすボラタイルな投機と激変、損失。●富の偏差・格差拡大と南北対立激化。●英国EU離脱決定、ドミノ的なEUの動揺と求心力喪失。●米国トランプ大統領就任と、無茶ぶりのスタート、一挙に吹き出す「アメリカ中心主義」と排外主義。●グローバル秩序をめざしてきた欧米の足下が揺らぎ、ナショナリズム噴出。

●しかし一つとして、グローバリズムに抗するものではなく、排外主義の憎悪・偏見・対立のみが加速。●これが「ボーダレス情報化」時代の「成果」だったのか? ←憎悪・偏見・対立をあおるプロパガンダを最大利用、80年前の「国家社会主義ドイツ労働者党」(NSDAP)の台頭と権力掌握は、世界恐慌下の危機に合って当時のマスメディアを最大限利用。●アジア経済のみが相対的安定下での成長(揺らぎは大きい)などの話で、大変難しい内容でありました。しかし、三井先生が「中小企業憲章」の創設者であり、今後は、間違いなく「中小企業憲章」が活用されていくことであろうと思う分科会でした。

第3分科会

自動車リサイクル業で世界の最先端をめざす!

～人財と共に攻めのITで新たな市場創造～

(株)シーパーツ 代表取締役 吉川 日生 氏
山口同友会 県共同求人社員共育副委員長

アドバイザー

山口大学 准教授 阿部 新 氏

島原支部 末永 義邦

今回自動車リサイクル業界で最先端を進む(株)シーパーツ社の分科会に出席して、私は食品製造業で異なりますが副題である(人財と共に攻めのITで新たな市場創造)のタイトルに惹かれ参加しました。

アドバイザーの阿部さんによる自動車リサイクル業界の初歩的知識、1900年代に車の利用が増えると共に比例して公害問題・不法投棄の問題点から自動車

リサイクル法が立案され中古車が海外にて再利用、若者達の生活習慣が変わり車を利用しなくなり海外展開を進めた説明は報告者の吉川さんの話がとても分かりやすく本題の参考になりました。

市場に振り回されない経営・同業者同士の横の繋がりを作ると、話をされた時には異業種でも共通点があると気づかされました。

本題では最初に吉川さんのビデオ報告で最先端な取り組みの車の解体作業風景を拝見してロボットによる細かい作業が出来るのを見て驚き、異業種の仕事を拝見する機会がなく動画報告はわかりやすかったです。

1991年には鉄スクラップの価格低下で経営が悪化し1997年には、リサイクル商品産業の流通ネットワークに参入しており、時代に合わせて経営戦略を変化して柔軟な経営改革の必要性を感じました。

営業改善で海外展開にて販路を見出そうとした経営戦略が、自動車を産廃しない経営戦略と切り替わるヒントとなったことには驚きました。私の食品業界でも安易に海外展開が成功に結びつくと取り組み、そこから新しい経営戦略のヒントが見つかりました。

新事業にて3年間にわたり新しい理想の自動車リサイクルシステムが県・市の方からバックアップしても



らえた事は事業が進みやすく、個人で進めるより公の立場の方に応援してもらえるような企画を立案する方が、メリットが沢山ある事に気付きました。

解体は手作業で疲れるため、能率向上の為にロボットを開発出来ないか新卒採用の社員と取り組み、補助金を利用して実際に開発、そしてリサイクルロボットの販売にまで業務を拡張しました。また会社内の沢山ある解体部品の情報共有化やペーパーレス化といった、攻めのIT化は必要と感じました。

事業承継は同族承継を止めて社員から起用と数年後の会社を思って取り組んでいく吉川さんの気持ちが伝わってきました。

第5分科会

人口減少社会で中小企業が存続するために、必須の経営戦略とは？～価格競争から価値競争へ！自社の競争優位性をどのようにつくるか？～

(株)シティライン 代表取締役社長
福岡同友会 代表理事

田浦 通 氏

アドバイザー

福岡大学商学部 教授
就職・進路支援センター長

合力 知工 氏

長崎浦上支部 山口 善也

田浦さんは19歳で福岡の大手物流会社に就職し早朝から深夜まで大変な業務をこなし10年後の29歳のとき独立創業され「一度さりの人生を掛けても惜しくない企業づくり」をめざして創業、1日100件の飛び込み営業での顧客づくりや資金繰りに腐心しながらも徐々に事業を軌道に乗せ頑張っていた4年目に突然社員5人が出社拒否をして現場が大パニックに陥ります。残る社員みんな1人2役も3役もこなしながら奮闘するも、お客様に迷惑を掛け大口の顧客からも取引してもらえなくなってしまう事態がおきます。

自分と社員の思いの差があることを感じていたところ同友会と出会い経営指針書を作成し発表すると社員の目の色が変わったのを感じ、ワンマン経営から社員が主役の会社づくりをはじめられビジョンを明確に示し、創業時より50%下落した単価の改善や業界で生き残る為には大手に出来ない細かな対応や価格競争に左右されない独自の企業価値が必要と感じられ、業界

やエリアを絞り込みメディカル専門の物流会社を目指して医療メーカー商品の早朝納品業務や医師や士業の方たちとチームで病院の経営課題を解決するメディカルコラボプロジェクトを開催するなど、専門性の追求を自社の強みとして活かし他社との差別化を図られていました。

今回は報告の後にアドバイザーより専門的な見地で説明もいただけ、より一層学びを深めることが出来ました。

その後は「自社の強みは何か、無ければどのようにつくりあげたいと思いますか。」というテーマでグループディスカッションを行いました。まず自社の強みをお聞きしたところ全ての方から強みをお聞きする事が出来、流石皆さん同友会での学びを実践し良い企業づくりをされていると思いました。その後各企業の今後の課題や問題点などを出し合いお互いにアドバイスし合うことが出来ました。全国から集まる経営者の皆さんからの発言にとっても刺激を受け多くの学びを得ることが出来ました。

翌日の記念講演では鹿児島同友会の窪田さんのお話を聞き①既成概念を打ち破る ②伝統と革新はセットである ③社員力の結集というお話から斜陽産業といわれる分野でも考え方や実行力で新たな事に挑戦できるという事を学びました。

諫早支部 平湯 湧一

全研に参加して良かった！！年に一度は全国大会に参加しないと置いて行かれる。毎月の例会に参加してわが社の振り返りを見ることが出来るものの全国大会となると危機感が全く違うことを改めて実感いたしました。また県内の仲間との連帯感も素晴らしく感じ得ました。

さて、今回の報告者、田浦さんは十数年前支部で報告をしていただいた経過がありました。経営計画書の大切さ、経営理念の必要性など熱く報告していただき、その後どう変化されたのか興味が湧き今回の参加動機になりました。わが社は子供を主体としたスイミング教室を主としています。少子化現象がもろに数字に表れております。田浦さんの運送業も20年で単価が50%下落したそうです。苦惱葛藤され、目指すところを顕在市場から潜在市場へ変化されていきます。わ

が社はまだまだどうしたら売れるかの現状です。これはヒントになりました。それに人件費高騰に対する捉え方です。労働生産性を高めるためには何がわが社にとってベストなのか深く深く考える事を学びました。

私は今、わが社の10年ビジョン作成に取り組んでいます。①社員が楽しく生き生きと、安心して働ける会社 ②お客様が喜んで足を運んでくれる会社 ③地域の皆さんからなくては困ると言ってもらえる会社 ④継続し続ける小さな一流企業を目指して10年後の姿を“絵”にしたいと思っています。

今回のグループ討論では沢山のアドバイスをいただきました。心から感謝申し上げます。ある同友会の仲間が言われました。柱を沢山作るのも良いけど現状を直視して“穴を深く深く掘れ、直径は自然と広がる”という事を発言され大いに勇気づけられました。全国の同友会の仲間感謝する全研でした。

諫早支部 松田 卓

私はグループ長を務めました。緊張の中進行していききました。私を含め8人のメンバーで今回より報告者を補佐する立場で、アドバイザー制度が設けられ、報告をわかり易く自分の体験をまじえて説明があったので、より理解が深まり良かったと思えました。福岡大学の合力先生は、鳥原支部の本多勝一郎さんの恩師と言うことを聞きました。

報告の内容は、経営指針書により社員が変わったという点、又差別化戦略により医療メディカル配送に特化したということ、社員教育を充実し社員が主役の企業づくりをしたということでした。合力先生からは毎

日感謝することを3つさがして、感謝の日記を続けるといいですよとアドバイスがあり現在実践しているところです。

2日目の朝は早朝6:00より城山公園に登り(ホテルより片道3kmぐらい)、毎日頂上で体操している結構年配のグループがあることと、西郷どんの銅像が城山公園の頂上にはないということを見ました。

2日目は記念公園で窪田織物(株)の窪田さんから大島紬のお話があり、あらためて「ピンチはチャンス」という話が身に染みました。そのあと、みんなで知覧の特攻平和会館に行き、先人の思いに涙し、平和のありがたさを感じました。有意義な2日間を過ごすことができ皆さんに感謝申し上げます。

第6分科会

衰退する業界でいかに活路を見いだしていくか
～自立と自律をもった、ゆるがない経営基盤で道を拓く～

(株)さかうえ 代表取締役社長
鹿児島同友会 理事 大隅支部長

坂上 隆氏

アドバイザー

九州大学大学院 農学研究院 教授

南石 晃明氏

鳥原支部 北浦 雄一

衰退する業界での活路を見いだす取り組みに、私のおかれる現況と重ね合わせ、何かのヒントがあるかもしれない、そういう思いでこの分科会を選択しました。

坂上さんは家業である農家を法人化して新しいビジネスの構築に取り組んでおられます。まず感じた事は、衰退する業界にチャンスがあるという事です。現在の満たされている社会においても潜在需要は必ず有る。そこに人間の欲求は必ずあることから、「困りごとを請負う」、「世の中の課題に挑戦する」という考え方で

マーケティングを行い、取引先や消費者の欲求に応える会社をつくり、また、必要とされる会社になることでチャンスを掴んでおられます。

この顧客満足の創出をする為に戦略をつくり、また、組織づくりを行っていらっしゃいます。組織づくりにおいては、社員の欲求、やる気を引出し、考え方のマニュアルを作る事で経営をわかりやすくし、権限移譲をすることで社員のスキルアップを行っています。坂上さんは現在、40代で入学した九州大学で博士課程を学びながら経営を行っておられます。会社は社員が決済権を持って運営しているということで、会社にとって一番必要な「人」を育て、またその「人」が会社を造っていると強く感じました。48歳を迎え、今後の展望として人生最後の仕事を決めたということで、今から取り組まないと間に合わないからとの事でした。

「常識を疑い固定概念を捨てると新しい発想やアイデアが生まれる」また「強み、弱みを理解することが望ま

しい未来を造る」との言葉がありました。衰退業界だからしょうがないなどということは決してなく、どこにでもチャンスはあるのだと感じ、悲観することなどまったく必要ないことだと感じさせられました。

今回、全研を通して「人を生かす経営」の必要性と、

組織づくりの重要性をあらためて強く感じさせられました。また、全国から集まったたくさんの素晴らしい経営者の方々と出会うことができ、大変いい刺激をいただき、自分の経営を見つめなおすいい機会となりました。

第7分科会

労働環境の改善を経営指針に位置づけて ～全社一丸の企業づくりのために～

香川県ケアマネジメントセンター(株) 代表取締役
中同協経営労働委員会 副委員長
香川同友会 副代表理事

林 哲也 氏

(有)京美容室 代表取締役
新潟同友会 副代表理事

関原 英里子 氏

大村支部 宇土 敏郎

〈報告① 香川同友会 林 哲也 氏〉

今中同協が進めている「就業規則のガイドライン」プロジェクトの目的と2016年4月～6月に行った「就業規則作成・見直し状況等に関するアンケート」の集計結果の概要についての報告がありました。

「就業規則ガイドライン」プロジェクトの目的は(1)1975年の労使見解発表から40年の実践を踏まえ、「労使見解」のが提起する「対等な労使関係を結ぶ」ことの意味を深め、企業づくりの実践方向性を明確にすること(2)経営指針の手引き改訂の真価を発揮し、全社一丸となった実践の推進のためである。単に売上向上、利益向上だけではなく、労働環境改善も考慮し「本当に社員をパートナーとして処遇」してこそ経営指針が社員の心に落ち、実践の指針となる(3)会員の主体的な意思と経営判断による労働環境改善運動を推進するとの報告がありました。特に、経営の結果の

しわ寄せを社員に押し付けていないか?・売上のビジョンは持つが、労働環境の改善は計画を持たない?・給与はコストか?コストが安ければよい会社か?には考えさせられました。

労働環境の改善にはキリがありませんし、終わりもありませんし、すぐには改善できません。社員と共に一歩ずつでも進めていくことが大切なのだと考えさせられました。

〈報告② 関原 英里子 氏〉

「経営指針書作成からの労働環境の変化」についての報告がありました。

美容業界の労働環境は師弟関係から劣悪であり、休日もなく、残業も支給されない業界である。そこで、改善を・安心して働ける場所づくり・女性が働ける環境づくり・一生働ける職場づくり・地域に貢献する職場づくりと決め、顧問社労士とともに改善を行ってきた。結果、社員の定着は・結婚後も在籍、出産後の復帰率95%・求人活動費用0円と改善されている。今後は、賃金の改善・介護を見据えたワークバランスを考えるとの更なる目標が発表されました。

分科会に参加して考えたのは、社員はパートナーであること・労働環境の改善も経営方針に盛り込むことを考えさせられました。

第8分科会

「人間らしく生きる」持続可能な社会のために中小企業は何かできるか～顧客が求めているのは「薬」ではなく「健康」～

(株)マスカット薬局 代表取締役
岡山同友会 副代表理事

高橋 正志 氏

アドバイザー

社団法人日本病院会 常任理事
(一財)操風会 岡山旭東病院 院長
岡山同友会 常任相談役

土井 章弘 氏

諫早支部 山田 康成

報告の骨子をまとめると、社会保障制度の破綻が危惧される今日、医薬品業界も厳しい時代に突入しています。その中で高橋さんの会社では顧客が求めているのは「薬」ではなく「健康」であると考え、薬に依存しない地域の健康寿命延伸を理念として活動されています。薬を減らすということは自社の売上を減少することにつながりかねない覚悟で改革に取り組みました。報告の冒頭に故赤石さんとの出会いと学びについて話されました。経営のいろんな悩みを赤石さんから学び

同友会は素晴らしいと思ったそうです。その学びを自社に取り組みで、今日まで実践しています。まずは経営指針の作成と発表会です。社員との信頼関係作りからイノベーションの実践が始まりました。

マスカット薬局イノベーション実践

1年目 ●理念・目的の発表 ●経営者の決意表明

●全社員のアンケート実施

2年目 ●5つの方針の発表

3年目 ●目標管理の発表 ●エンゲージメント・ロゴマーク・缶バッジの作成

4年目 ●ビジョン発表(3年後)

5年目 ●家庭医療専門薬剤師レジデンシー

6年目 ●職員年度表彰規定 ●資格保持・所属学会に関する評定規定

7年目 ●新ビジョン発表(3年後)

この中で疑問に思った新ビジョンが何故3年なのか?という質問に「時代の流れはITをはじめどんどん進んでいる。5年後の未来は考えられない。」とお

答えでした。

また、マスカット薬局は「薬に依存しない地域の健康寿命延伸」を理念としているので売上減少の心配を聞くと、「地域に密着した活動(健康祭り、栄養指導、運動指導、検診指導など)を実践しているのですお客様の信頼が厚い。ほかの薬局に行っていた人が当社のファンになってくれた。」と回答されました。

座長のまとめとしては、「人間らしく生きる」は高齢化社会への対応である。

第9分科会

共同求人活動と地域活動の複合力で求人難を乗り越えよう～産学公連携で中小企業の魅力発信～

京都エレベーター(株) 代表取締役
京都同友会 社員共育・求人委員長

田中 陽一 氏

Medico-tec(株) 代表取締役
京都同友会 政策委員長

宿野 秀晴 氏

アドバイザー

京都府立大学京都政策研究センター特任 准教授
福知山公立大学地域経営学部 准教授

杉岡 秀紀 氏

長崎浦上支部 橋本 裕次郎

他県の共同求人活動を学ぶために選びました。

昨今、新卒者の求人難と言われてますが、この状況がこれから良くなることはないでしょう。人口は確実に減少していますし、これまでが良かっただけです。

京都では大学や行政と上手く連携しています。京都同友会では地元にもどのような中小企業があるのか、その社長はどんな人なのかを紹介した冊子を作っています。またグローバルセンターという「ALL京都で取り組む人材育成」を目的としたNPO法人が設立され、京都の経済団体、行政、大学が連携しています。そこでの取り組み「企業×学生連携プロジェクト」では企業の商品PRや業界のイメージアップ、利用者視点のアイデア等のプロジェクトを企業と学生が立ち上げ、それを共通のミッションとして解決するという場があります。それが企業と学生をつなぐ機会と人材育成になり、就職率アップにもつながっています。

学生の企業を選ぶ判断基準は、ここ近年では自分のやりたい仕事ややりがいがあれば中小企業の方がよいという傾向が増加してきている様です。さらに仕事を

「持続可能な」は企業の維持・発展が大事である。地域一人、一人の生命と健康を守るために、主体性をもって継続的に社会貢献をしていこうということでした。

テーマがあまりにも抽象的で最初はとまどいましたが、北海道の夕張市の事例や、自社の事例を聞くことによって内容が理解することが出来ました。

同友会の三つの目的を再度確認して、人間尊重の経営を感じた分科会でした。



通して地域や社会貢献、人の役に立ちたいと考えている人が2010年くらいから増えてきています。それなのになぜ中小企業を選ばれないかという、学生が中小企業をよく知らないからです。というよりは我々中小企業がそこまで知られていないことが問題でもあります。

諫早支部で行われている大学生との産学連携のような、企業と学生との直接対話の機会を各支部で増やしていくことが大切だと思います。高校生なら、直接高校に出向いての企業説明会です。

日本を支える中小企業の使命は、今の会社の労働環境や経営環境をさらに良くしてよい会社をつくって(経営理念、経営指針書、就業規則をつくるが大前提)、みんなに知ってもらい、学校や行政と連携して地域をつくっていく。地元に戻りたい大学生や社会人が増え、人口流出低減や出生率増加となり、さらに地域が活性化していくという明るい連鎖を、地道に数十年後を意識しながら今を行動することが大切だと思います。

事務局次長 峰 圭太

全国的に人材確保難が喫緊の課題となっているなか、長崎同友会では来期から準備委員会が立ち上がる共同求人分科会に参加させていただきました。

若者の県外流出に関しては、中小企業で働く社員が親として自社を誇れるか、中小企業の良さを自分の子供に語るができるよう、社員と自社の存在を共有することの大切さを報告いただきました。

各大学の就職ガイダンスの在り方が「面接を通すためのガイダンス」に変化してきた現状、学校にしつけを任せず人間尊重経営をベースに学生に選ばれる企業づくりと同時に、企業の魅力を発信することの重要性も報告から学ぶことができました。

産官学の連携も必至であり、共同求人位置づけを単なる「人採り」ではなく、企業づくりの集大成としてとらえることが大切です。

グループディスカッションでも各県の取り組みを学

ばせていただき、来期以降に向け、長崎らしい共同求人活動が展開できるよう事務局としても情報収集を重ね各方面と調整を図っていきます。同時に事務局の労働環境も見直し、学生に選ばれる事務局づくりを目指します。4月以降、準備委員会を中心に戦略を立て、実践していきます。補足報告の中でも「売り手よし、買い手よし、世間よし」の“三方よし”に「未来よし」を加え、“四方よし”という言葉がありました。地域に根

第10分科会

私たちがなぜ、エネルギーシフトに取り組んできたか
～「岩手エネルギー2050年ビジョン」その先にめざす姿とは～

信幸プロテック(株) 取締役会長
岩手同友会 代表理事 **村松 幸雄 氏**

(株)高田自動車学校 代表取締役
岩手同友会 代表理事 **田村 満 氏**

岩手県中小企業家同友会 事務局長 **菊田 哲 氏**

アドバイザー

エネルギーアドバイザー Dot プロジェクト 事務局長 **長土居 正弘 氏**

大村支部 上谷 直人

私の鹿児島全研は1年前から始まっていた。それは2016年度の活動方針になるべく多くの会員、特に新入会員に参加していただく様、掲げたからです。それに経営フォーラム懇親交流会の壇上では、キャラバンにお見えになった鹿児島同友会の皆さんの前で「大型バスを貸し切って必ず参加致します。」と断言しました。それからみんなのやる気と熱意が膨らんで、県央地区の大村と諫早、島原支部とがまとまり、大会当日はそれぞれの分科会で学び友情を深めて参りました。

私は地球環境問題に伴ったエネルギーシフトについて学ばせていただきました。又、この分科会を選んだ

第13分科会

命を大切にする社会こそ真の平和につながる～命を賭して日本の将来を託した若者に私たちは応えているのか～

特定非営利活動法人
知覧特攻の母鳥濱トメ顕彰会 特別顧問 **鳥濱 明久 氏**

いぶし社会保険労務士事務所 所長
(鹿児島同友会) **飯伏 純也 氏**

事務局 田口 友廣

今回記録として知覧での見学分科会に参加させていただきました。

知覧へ向かうバスの車内で飯伏さんより、知覧の町について、特攻隊について、そして特攻の母と呼ばれる鳥濱トメさん(故)について報告をいただき、その後知覧特攻平和会館を見学しました。

知覧特攻平和会館では、特攻で亡くなられた方の遺影や遺書を中心に展示がされ、予定された時間内には到底読み切れぬ量の遺書はどれも達筆で記され、「国

差す中小企業と、その生きざまに間近で接することができる事務局として今後も運動の担い手の一翼として頑張っていきたいと思います。

2日目の記念講演でもたくさんの学びをいただき、2年後の長崎全研開催に向けあらためて貴重な学びと気付きをいただきました。一つひとつが今後の運動の血肉となるよう、少しずつ到達点を確認しながら前に進んで行きたいと思います。

最大の理由としては珍しく3人という複数の報告者で、報告の繋がりともまとめの部分はどの様にして話されるのか興味があり、又、以前長崎でも報告をいただいた、東日本大震災では大変な被害に遭われた田村さんの運営される(株)高田自動車学校のその後の復興と成長過程も知りたかったからです。報告の中では、自然から受けたダメージの深さと、それがゆえに自然に向き合う企業家いや地域を代表する者としての環境問題に対する使命感とも言える意志の強さを深く感じました。その中で一番衝撃だったのが、温暖な地方ほど、住まいの環境設計の不関心中から心筋梗塞などの死亡率が高いという報告やスクリーンに映し出された地球温暖化の進行度合いが2000年から急激に進行しているという状況を示したVTRでした。

グループディスカッションのテーマにもあった様に、何か一つでもエネルギーシフトに繋げて行く事が出来る様に企業と地域を巻き込んで努力してみたいと思いました。

最後に今回、県央3支部がまとまり、全研をみんなで楽しく充実した時間を過ごす事が出来たことと、何よりも企業の大切な社長様達を無事に大村まで帰り届ける事が出来たことに感謝申し上げます。



のために、そして家族のために死んでいく」という覚悟が綴られており、遺書を目の当たりにして命を賭して今の日本を残してくれた特攻隊員の方へ、今の私が応えることができているのかという思いでいっぱいになりました。

その後、夢郷館で鳥濱明久さんからの報告がありま

した。鳥濱明久さんは特攻の母として慕われた知覧町の「富屋食堂の女将 鳥濱トメさん」の孫にあたり、鳥濱トメさんより特攻隊の真実を語り継がれ講演活動をされています。

トメさんは「本当のことを伝えていかなければならない。笑って行ったとか喜んで行ったとかそんな人は一人も見ることがない。」と語られていたそうです。特攻隊員は遺書を残していますが、その遺書は検閲されたもので、密かにトメさんに預けられた写真や手紙には「喜んで」とか一言も書いていません。どの手紙にも家族のこと、愛する人のことを思い、その人達を守るために特攻隊として命を賭けるといったことが書かれており、特攻する以外の選択肢がない追い込まれた状況がありました。

鳥濱明久さんから特攻隊員の本音や家族への想いを聞く事ができたことで、軍の統制のなかで本当に伝わるべきものが伝わっておらず、本当のことは自分の目で見て現地に行かないと分からないこともあると感じるとともに、今後の自分の生き方を見直してこれから頑張っていかなければならないと気持ちを新たにすることができました。

また平和があつてこそ中小企業が発展することができるということを特攻隊員の命を通して学びとることができました。平和問題を考えることは日本国民の責務であり、同友会として今後も平和問題に取り組み続けることが大切であることを痛感しました。今回得た学びを今後の会活動に活かして参ります。

長崎全研

2019年は長崎にて中小企業問題全国研究集会在開催されます!!

2019年2月(予定)開催まで

あと

22

ヶ月!!

中同協 第4回 幹事会及び人を生かす経営推進会議 参加報告

開催日：3月10・11日(金・土) 会場：アルカディア市ヶ谷、東京同友会会議室

代表理事 松尾 慶一

日頃から中同協幹事会に参加して思う事で、自費参加の代表理事も多い事から、ついでに用事を作り仕事にも生かさなければ東京へ出て来てもったいないと言われ続けてきました。そこで今回は東京ビッグサイトへ羽田から直行し日経デザイン主催の展覧会を視察しました。小1時間しかおれませんでした(財)日本デザイン振興会のブースにグッドデザインの意義と歴史が展示されている中に白山陶器のロングライフデザイン製品が大企業に負けず2点も展示されている光景は、改めて自社の存在意義と継続して来た事を誇りに思いました。

それから幹事会に参加し改めて長崎からの参加者を増やしたいと思いました。幹事会における運動内容の深化と課題が多様化してきていることに対応するためにも、2019年全研に向けて多くの参加者を募るに

も、会勢1000名を目指すためにも複数名の参加をしていただきたいと痛感しました。幹事会終了後翌日の「人を生かす経営」の懇親会に参加した所12名程でしたので少ないのに驚きましたが、翌朝は人を生かす経営推進会議に自主参加しましたら事務局6名含め20名の参加者でした。そこでは、2年に1度開催の「人を生かす経営全国交流会」の内容を検討し幹事会に提案する協議会でした。経営労働・共同求人・社員教育・障害者問題の4委員会活動の総合実践による「人を生かす経営」(労使関係の実践)の推進のため各委員会の方針や活動内容を交流し、お互いの連帯をいかに図るかの協議会にオブザーバーとして峰事務局次長と参加していたのです。(やっぱり、参加してみるものです。)共同求人委員会では学生が職に就く意識が低く、来てくれない悩みから学生に職業観・職業意識を持たせることが課題とし、誤った情報の中小企業=ブラック企業という認識を払拭しなければならない。

社員教育委員会では、教育観が大切と捉える。新入社員オリエンテーションも全国で様々な取組がなされているので、それらの情報を集めて良い所取りで編集して活用する事と、会員向けも新入会員さんへのオリエンテーションも同じように行いパンフレットを作成する。

障害者問題委員会では全国にいる700万人の障害者と、その中の特に就労困難者のために現在の38同友会を更に組織化して全国を網羅できるように展開し地域の団体と連携をしていく必要が有る。

経営労働委員会では実践の手引きを中心に、企業変革支援プログラムを活用して企業の活性化を図る。それから、全国4万6千社の会員で社員数が10名以下

では就業規則を持たない会社が未だ多く問題である。就業規則は会社の法律とも言われているが逆に社員さんとの契約書でもあるので作成運動を徹底する。という様に4委員会の中同協委員長と、それを束ねる担当中同協副会長の協議会に参加出来て非常に有意義でした。

そして、長崎市へ戻りダイヤモンドクラブの総会・例会に直行し先輩方の2019年長崎全研に対しての熱い思いと全面的な協力の発表に大きな力をいただきました。感謝。

『俺たちは現役の会員だ！一人ひとりが仲間づくりをするぞ！』本当にありがとうございました。よろしくお願い致します。

事務局次長 峰 圭太

3月10日の午後から開催された中同協第4回幹事会は全国から100名を超える幹事が出席されました。冒頭前回幹事会からの経過報告がなされ、その後2017年度議案骨子について広浜幹事長から提起がありました。議案の内容については年を重ねるごとに深くなり中小企業を取り巻く環境がいかに大きく変化してきたかを物語っていると感じました。その全てに取り組むことは難しいにしても、長崎なりに経営課題の優先順位をつけ1社でも多くの会員企業の経営向上に寄与できるよう事務局でも情報を共有、発信し、課題解決のための運動提起を行っていきたく思います。一つの方法として他県でも取り組んでいる議案の読み合わせを理事会で行うということです。現在理事

会では税制の学習会を冒頭30分行っているため、今後協議事項を鑑みながら理事会へ提案していきたいと思えます。

翌日は人を生かす経営推進会議にオブザーバーとして参加させていただきました。幹事会でも提起された、今後新入会員のために新しい小冊子を作成する方向性が出ており、この内容に関する議論、また社員教育、共同求人、経営労働、障害者問題の4委員会の専門性を深ぼりした会議は、あらためて人を生かす経営の実践が最重要課題であると認識しました。企業変革支援プログラムの活用もその一環であるため今後経営労働委員会を中心に普及活動に携わっていきたく思います。

中同協の議案を参考に長崎でも取り組むべき点を精査し、実践していくことをあらためて学んだ2日間でした。

2016年度 第3回 新入社員フォローアップ研修 開催報告

開催日時：3月25日(土) 13:00 会場：サンスパおおむら会議室

今回、12名の会員企業の新入社員さんに集まっていただき、1年間自社での仕事の内容、仕事を通して学んだことなど5~7分間で発表いただきました。全員が、プレゼン資料をプロジェクターに投影し、堂々と発表している姿を見て、人って成長するんだなあと思えて実感しました。

ある社員は、自社の歴史、社名の由来をきちんと発表し、仕事の様子を写真に撮ってわかり易くまとめて発表、それぞれの個性が出ているなあと思えました。そして、今年度の反省と来年度の目標を盛り込んでいるところに、成長の一步を感じました。

食品製造、美容業、地質調査、経理事務、板金塗装、車販売など、多種にわたる職種の発表は、私を含め拝聴しているオブザーブの方々も大変学びになったことと思います。



最後に、「企業は人なり」と言いますが、やはり「人を育てる」ことが、企業の命題でもある「永続」に繋がっていくものだと思います。今回で第二期を終えますが、每期每期継続することが大変重要であり、会の発



展にも繋がっていくものと信じます。今後は、入社5年未満の会員企業の社員さんを集めた研修も企画し、共育委員会の活動が更に会員企業のお役に立てるよう、充実を図って行きたいと思います。

今回、合同入社式から3回のフォローアップ研修を



無事終わることが出来たのも、事務局始め各支部の共育委員の方々にご協力いただいたからこそと心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(文責 県共育委員長 土井 幸喜)

(株)福祉工房K's(佐世保支部 豊福会員)経営計画発表会 参加報告

開催日：2月25日(土) 会場：セントラルホテル佐世保



【参加者の声】

1. プライアント(株) 橋口 久

倫理(職場の教養)の時間：日々の朝礼を本日の発表会に組み入れたことで、「発表会と日常」経営計画書に則った業務も日常化に繋がる良い工夫だったと思う。社長の決意：最初の挨拶が「社長の決意」であったことが、ムードが徐々に上がって行くのではなく、会全体が最初からグンと盛り上がる効果があった。部門発表の前に個人目標を前にしたのは、発表会が社員のためのものだという印象だった。社長の社員に語りかける姿も良かった。※式次第がなかったのが残念…(流れが掴めた方が良い)。

2. (株)広告のアクセス 山領 進

スタッフの皆さんは本当に互いを信頼し合い助け合っておられ、そのことがとても良く伝わりました。豊福さんの話で最も印象に残ったのは「利益を上げな

ければならない・数字の意識を持つこと」という話です。福祉事業の方々の経営計画、目標などを聞いているとほぼ「数字」の話は欠落しています。豊福さんの言葉の中に「先儀後利」という四字熟語もありましたが、それだけでは、企業は成り立たないのは明白です。“障がいをもった方、高齢者など社会的弱者の為に自分たちが役に立つんだ”という「美しい理念」だけではダメだという現実的な話をされたことは高く評価されていることだと思います。

3. 村上彫刻 村上 敦子

社員の方々の個人目標発表、皆さんそれぞれの熱い想いに心打たれました。そして、出産・育児・介護等で休暇を取らなければならない状況を、他の社員が互いに全力でフォローし協力し合って運営出来ている姿を見せていただき、私もこんな組織作りを目指したいと強く思いました。ありがとうございました。

4. (株)佐世保福祉 綿川 淳子

あっという間の時間でした。社員の皆様のレベルの高さ、代表の固い決意、大変刺激を受けました。

5. 尾崎陶器(株) 尾崎 彰宣

非常に良かった。代表の力強い言葉と、社員の方々のモラルの高さが伺えた。

6. (有)カワカミ 川上 利夫

本日は大変いい学びになった。1年毎に経営計画書

が成長している。社長は、自分で決めたことはやり遂げる性格、それに社員・利用される方々に気配りできるので、今後さらに楽しみになった。計画書を読むのではなく自分たちの考え思いを話されたことは大いに評価できる。仕事を通して家族へも良い影響を与え、

学童保育では子は鏡という客観視できる指導体制、自分も見習いと思いました。

(とりまとめ：佐世保支部経営労働委員長 豊福 和明)

(有)山崎マーク(佐世保支部 山崎会員)経営計画発表会 参加報告

開催日：2月27日(月) 会場：魚々の宿



【参加者の声】

1. プライアント(株) 橋口 久

圧倒的に女性が多い職場の特性を生かした経営計画書になっていると思う。見やすい読みやすい、親しみやすい。新体制で全員経営をするために大変効果的なツールになってくれるだろう。組織図：いつもながらに解り易い。また、3年目ということもあり、目に慣れ社員さんも自分のポジション・役割が容易に掴めるだろう。山崎さんの話：社員に語り掛ける姿が良い。第28期にのろしを上げる計画書に成文化したmantleが具現化して、計画書/発表会を通じた企業成長を実感出来たことが、経営計画発表会をやる醍醐味。「これから、少しずつ社長になっていきたい」という感じの発言があったが、「3月1日から秀平さんは社長！！」気持ちは少しずつでも社員の前では、3月1日から堂々と社長らしくするべき。「これから少しずつ船長になっていきたい」と言ったら、荒波の中でオールを漕ぐ船員は不安に思う。個人目標：ダイエットの話が一人もいなかったのが、社員さんが経営計画書/発表会を自分のものにして証拠。素晴らしい。3年目で履物が揃うのかなと、先日の福祉工房K'sさんの発表会を見ても実感。

2. (株)広告のアクセス 山領 進

山崎秀平社長就任おめでとうございます。“新社長”の優しさがにじみ出ているような発表会でした。度々、語られた「働きやすい社内環境」が、いまひとつ具体的に伝わってきませんでした。来年は具体的な“成果”

を聞かせていただきたいと思います。また、数値目標もよく解らないなあと思っていたところ“現社長”から、2億円という明確な目標数値が出てきました。計画書の中にも明記したほうが良いですね。追伸：TV取材に当社山田健太一家を御起用いただきありがとうございました。

3. 村上彫刻 村上 敦子

第29期・事業承継を迎えられる節目となる記念すべき経営計画発表会に参加でき大変嬉しく思います。現社長の挨拶からスタートしこれまでの歴史の重みがひしひしと伝わり大変感動しました。事業承継をスムーズに行う際には、会社の羅針盤となる経営計画書は絶対欠かせない物であるということ学ばせていただきました。しっかりした基盤を大切にされながら、新しい事に次々とチャレンジされている山崎マークの今後一層のご活躍をお祈りしています。

4. iSOLUTION JAPAN 八並 学

自分に足りない組織のチームワークに関しては参考になります。今年から大きく変わり多くのプロジェクト参加・人材確保等多くの課題があるので、目標とさせていただきます。今期中に新たな目標・計画を成文化したいと思います。

5. (株)佐世保福祉 綿川 淳子

地域の中で確固たる地位を築いておられることが解り、大変参考になります。地域の中で頼もしい会社作り、見習いたいと思いました。

6. (株)福祉工房K's 豊福 和明

山崎新社長の前期の振り返りによる今期の方針がしっかり出来ており、PDCAを見習い今期に生かしたいと思いました。発表会では事業承継もあり発表会を有意義に活用されていると思います。(前社長=会長への感謝のセレモニーがあるともっと全社挙げてのモチベーションが上がったと思いますので、折をみて開催願います)

(とりまとめ：佐世保支部経営労働委員長 豊福 和明)

会員活躍



ホテルウイング・ポート長崎

口コミ評価、全国4位

価格や清潔感など理由

長崎市大黒町のホテルウイング・ポート長崎＝写真＝が、世界中の旅行者による口コミランキングのベストバリュー部門で全国4位になった。価格や清潔感などが評価された。

旅行口コミサイトのトリップアドバイザーが昨1年間の投稿を基に実施。国内では約3万4000の宿泊施設の中から、サービスやラグジュアリーなど計8部門に計135施設を選んだ。ベストバリューは宿泊費2万円以下の施設が対象。

ホテルウイング・ポート長崎は九州教員（大村市）の運営で、1998年に開業した。地上11階建て、客室数は全200室。昨年7月までの1年間の宿泊客数は約6万8000人で増加傾向にある。

同ホテルの田川豪支配人は「お客さまに快適に過ごしてもらおうことが第一。これまで通り笑顔を決やさず、さらに口コミ評価を高めたい」と話している。（山口紗佳）

ガーデンテラス日本一

日本全国の宿泊客アンケートで全国1位の評価を得たガーデンテラス長崎ホテル＆リゾート



ガーデンテラス長崎ホテル＆リゾート（長崎市秋月町）が、旅行大手の日本旅行（東京）による旅館・ホテル宿泊客アンケートの規模別総合（31～60室）で、全国約140施設中トップになった。接客や食事などが評価され、初

ホテル規模別宿泊アンケート 接客や食事評価

の受賞となった。アンケートは2015年10月から1年間、日本旅行のプランで宿泊した人を対象に実施。ガーデンテラスは項目別（ホテル型）客室部門でも3位に入った。ガーデンテラスは冠婚葬祭業のメモリード（西彼長与町）が運営。20年東京五輪・パラリンピックのメインスタジアム新国立競技場も手掛ける建築家、隈研吾氏の設計で09年開業。36の客室があり、宿泊客数は増加傾向で、16年は約1万4千人だった。四つのレストラン、結婚披露宴に対応できる宴会場もある。田中善隆宿泊支配人は「オープン当初から日本一を目指してきた。今後も喜んで提供するサービスを提供したい」と話した。（山口紗佳）

ヒトコト

「社業について。スポーツウェアや学校の体操服、Tシャツなどあらゆるアイテムのデザインプリントや刺しゅうなどを手掛けています。現在九州各県のスポーツ量販店約100店舗、県内外の中学、高校計約60校などと取引を続けています。企業はもちろん個人やチーム、団体からもTシャツなどへのデザインプリントの

プリント対応、幅広く



山崎 秀平さん（38）

有限会社山崎マーク 代表取締役社長

注文を多く受けています。課題と今後の展望は。少子化による学校の部活動数や、スポーツ量販店の減少により、それ以外の取引を強化しなければなりません。これに対応するため、昨年12月には佐世保市万津町に個人客向けのコンセプトショップ「マント」をオープンさせました。衣類や贈り物などTアイテムからオーダープリントを受けられる店舗なので、幅広いニーズに応えることができます。これからも質の高いものを早く提供できるよう努めていきたいです。（小槻憲吾）

山崎マーク（西海市西海町川内郷）1978年創業。従業員約40人。工場は本社と佐世保市の2カ所。西海市内でコインランドリー4店舗も経営。

ふるさと経済

ECONOMY

「Nぴか」3社追加

県認証

県は10日、「県誰もが働きたい職場づくり実践企業認証制度」（略称・Nぴか）として、3社を追加したと発表した。3社はエイコー商事（佐世保市）、山懸（同）、永代ハウス（同）。

同制度は、働きやすい職場づくりに励む企業の魅力向上につなげ、県内就職の促進や人材定着につなげることを目的に、昨年11月創設。「仕事と育児・介護の両立」「働き方改革」などで一定の基準を満たした企業を県が認証する。今回で企業数は13社になった。（山口紗佳）

事務局企業訪問

今回は、この度北松浦支部長に就任された井手 眞悟さんにお話を伺いました。



専務(奥様)といつも笑顔の井手さん

22歳 松浦市に5坪のお茶屋を開店。これが井手さんの原点です。松浦の法知岳の麓で製茶業を営む家業に従事。それまで製茶業の衰退を感じつつ、よくお茶のことがわからないまま営業を続けていた井手さん。「あなたから買うからギフトも一緒に持ってこんね」とお客様からの要望からギフト販売を始められたそうです。そこには地域の皆様のお父様に対する大きな信頼があったからこそでした。

31歳の若さでギフトプラザ ホウチエンの本社店舗を建設。さあやるぞ！と意気込んだのも束の間、地域で「生活改善運動」が始まりました。その運動とは「返礼をやめよう」というもので、開店当初から大打撃を受けたのです。1～2年で運動は自然消滅。地域の皆さんは、「お返ししなかったことが、今でも気になる」と言われているそうです。

井手さんのモットーは、クオリティを下げない！、いい商品で当たり前、お客様を裏切らない、品質・安心・安全・信頼・信用の追及を徹底されていることです。その為には社員満足度の追求と、社員さんへは厳しくも温かく接していらっしゃいます。女性が多く、定着率が高いという理想的な職場です。クオリティに関しては、「包装紙・袋等へのこだわり」があります。ギフトプラザ ホウチエンの商品が行き来する中、用途に応じた包装紙・袋を使用されています。

佐々に支店を出した理由を尋ねた所、「山を越えたら文化が違うから」ということでした。例えば、法事を松浦は盛大に行うことに対し、佐々は少人数と、まさに文化、親戚・近所付き合いの深さの違いが強くあるそうです。その文化の違いに応じて細やかな対応ができる様に各地域を知る必要があるとの思いからだそうです。

2015年度 第22回経営フォーラム実行委員長としてたいへんご尽力いただいた井手さんのご活躍は皆さんの記憶に新しいと思いますが、今春、北松浦支



部に就任されました。

これまで、北松浦青年会議所理事長や長崎県商工会議所青年部会長を歴任。組織運営には長けていらっしゃいます。また、地域貢献に対する熱い思いをお持ちです。

お茶の需要が減少する中、井手さんは自ら、学校・公民館等で「お

茶の美味しい淹れ方教室」を定期的に開催されています。おいしいお茶を伝える・広めることはもちろんですが、これらも地域への恩返しという強い思いからです。

今、松浦市の新特産品開発事業の一環として、「松浦のお知家(ちや)」というペットボトルのお茶の製造に取り組み始められました。お茶を通して「松浦を知ってもらおう」ことが大きな役割です。

「ながさき玉緑茶の松浦産限定を材料としたお茶で、なぜ、『お知家』かとういうと結納の時にお互いの相手を知るという意味で『お知家』が当て字で使われています。お茶は元来コミュニケーションツール。『家を知る』ために心をこめてもてなされていたものです。そんな想いを回帰させる、昔ながらのおいしいお茶になればと思います。」と熱く語られる井手さんの人(相手)を思う気持ちがあふれる事業発展と支部長としてのご活躍を祈念いたします。

<経営理念>

「社員とお客様と地域の繁栄を求めて…」

<経営方針>

お客様と社員と社会を一つの輪でつなぎ、顧客の満足が社員の幸せに、社員の幸せが会社の繁栄に、会社の繁栄が社会への貢献とつながる。

<企業概要>

(有)法知園 屋号：ギフトプラザ ホウチエン
業種：ギフトの販売(卸・小売)、

お茶の製造・販売 (卸・小売)

〒859-4501 松浦市志佐町浦免1665

TEL 0956-72-2296 FAX 0956-72-2198

<http://www.houchien.com>

【佐々店】北松浦郡佐々町本田原免50-1

TEL 0956-62-6033

(文責 事務局 山田 幸司)

新入会員の皆さんです<3月入会・交代>

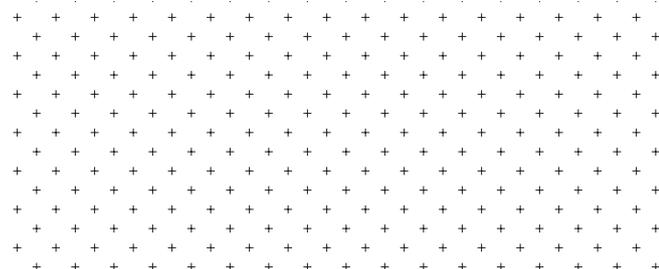
(敬称略)

<入 会>

支 部 名	長崎浦上支部		
氏 名	あじのひとし 阿宇野 仁		
企 業 名	(株)データウェブ		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒850-0034 長崎市横島町9-3 岩崎ビル1F		
T E L	095-828-2554		F A X 095-828-2624
業 種	IT関連事業(インターネット構築・管理、LAN・WANなどの企業内通信システム)		
企 業 P R	webサイトの企画・製作・管理からネットワーク構築、保守、医療分野まで、少数精鋭でICTを活用したソリューションでお客様のご要望にお応えします。		
スポンサー	西山 展司		

支 部 名	長崎浦上支部		
氏 名	おおつば たかあき 大坪 孝聡		
企 業 名	大坪総合法律事務所		
役 職 名	所長		
企 業 住 所	〒852-8106 長崎市岩川町12-11 辻丸ビル2F		
T E L	095-801-2225		F A X 095-801-2226
業 種	弁護士・社会保険労務士		
企 業 P R	佐賀県において3年間ほど執務しておりましたが、地元が恋しくなり、浦上に戻ってきて開業いたしました。法的サービスの拡充により地元貢献したいと思います。		
スポンサー	山崎 功		

支 部 名	長崎浦上支部		
氏 名	なかむら てつお 中村 鉄男		
企 業 名	(株)中村工務店		
役 職 名	代表取締役社長		
企 業 住 所	〒852-8118 長崎市松山町4-44		
T E L	095-847-4275		F A X 095-843-3746
業 種	建築リフォーム工事業		
企 業 P R	昭和32年12月に創業、現在「すまいるリフォーム」の看板で実績を拡大中。県内リフォームの実績No.1を11年連続しています。		
スポンサー	松尾 慶一		



支 部 名	長崎出島支部		
氏 名	あまだ ゆういち 天田 雄一		
企 業 名	STUDIO DO(同)		
役 職 名	業務執行社員		
企 業 住 所	〒850-0016 長崎市夫婦川町2-2		
T E L	095-827-6734		F A X 095-827-6734
業 種	ライブハウス・イベント企画・運営		
企 業 P R	長崎で一番古いライブハウスとして日々頑張っております。私はイベント部門として「橋下徹」講演会や県・企業様のイベントをさせていただいております。		
スポンサー	飯田 義則		

支 部 名	長崎出島支部		
氏 名	いおり しとや 伊折 志登也		
企 業 名	(有)アイエフエス(うどん「とも也」)		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒850-0876 長崎市賑町5-25-2		
T E L	095-829-0609		F A X 095-829-0609
業 種	飲食業(うどん「とも也」)		
企 業 P R	本格さぬきうどんを作っています。		
スポンサー	庄司 博昭		

支 部 名	長崎出島支部		
氏 名	のだ しゅうじ 野田 修司		
企 業 名	Street Nois(ストリートノイズ)		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒850-0852 長崎市万屋町5-9-501		
T E L	090-7393-1231		F A X
業 種	広告・イベント企画		
企 業 P R	広告媒体の取扱いとデザイン制作、イベント企画運営の他、楽曲制作やCM制作等。昨年は「橋下徹」講演会を実施させていただきました。		
スポンサー	飯田 義則		

支 部 名	大村支部		
氏 名	しょうばやし しんいちろう 正林 真一郎		
企 業 名	(株)山本電器		
役 職 名	専務取締役		
企 業 住 所	〒856-0825 大村市西三城町18-2		
T E L	0957-52-4557		F A X 0957-53-1688
業 種	電気工事業		
スポンサー	吉尾 明美		

支 部 名	大村支部			
氏 名	そえじま ともゆき 副島 智幸			
企 業 名	ミライズプラン			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒856-0835 大村市久原1丁目1173-1 久原第2アパート 二棟204号			
T E L	0957-52-6680	F A X		0957-52-6680
業 種	経営コンサルタント			
企 業 P R	ご相談は無料で、料金は成功報酬型。勿論、秘密は厳守します。100冊の経営書よりも、10回のセミナー参加よりも、1度ご相談ください。必ず解決の道筋を見つけ出します！			
スポンサー	高瀬 邦彦			

支 部 名	大村支部			
氏 名	のなか てつや 野中 哲也			
企 業 名	(有)野中木工所			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒856-0806 大村市富の原1丁目1610-1			
T E L	0957-55-4861	F A X		0957-55-4037
業 種	店舗内装・家具・建具・リフォーム			
企 業 P R	創業70周年を迎え、県内全域店舗内装、家具、建具、リフォーム全般真心を込めて提供しています。			
スポンサー	金井 政春			

支 部 名	諫早支部			
氏 名	おきた のりひさ 沖田 徳久			
企 業 名	からあげ マルヒサ			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒854-0053 諫早市小川町90-4			
T E L	0957-22-8332	F A X		
業 種	からあげ専門店			
企 業 P R	デカイ・うまい・安いが売りのからあげ専門店。諫早のからあげ略して「諫から」として一度食べたらやみつきになる味。リピーター多数。			
スポンサー	杉本 誠二郎			

支 部 名	諫早支部			
氏 名	さとう ようへい 佐藤 洋平			
企 業 名	(株)ARI-JAPAN			
役 職 名	代表取締役社長			
企 業 住 所	〒856-0837 大村市西本町582-1			
T E L	0957-47-6271	F A X		0957-54-3777
業 種	飲食業			
企 業 P R	大村市を中心に飲食店を3店舗展開しております。バイキングレストランDODON、漫画食堂、どんぶり屋。			
スポンサー	杉本 誠二郎			

支 部 名	島原支部			
氏 名	たかぎ わか 高木 和歌			
企 業 名	(株)ソウル・ブラッサム			
役 職 名	代表取締役社長			
企 業 住 所	〒855-0802 島原市弁天町1-7055-1			
T E L	080-5206-6529	F A X		
業 種	健康・美容・カウンセリング			
企 業 P R	Soul Blossomとは「あなたの花を咲かせるお手伝いを」を理念とし、人が幸せで自分らしい人生が歩めるよう、持って生まれた個人の魅力を引き出すためのカウンセリング・施術・講座・イベント・運動教室などやっております。より自分を知りたい方、安らげない方などいらっしゃたら、どうぞお気軽に御紹介下さい。			
スポンサー	横田 耕詞			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	こい で しゅうご 小井手 翔吾			
企 業 名	(株)小井手設計			
役 職 名	専務取締役			
企 業 住 所	〒857-0854 佐世保市福石町16-20			
T E L	0956-31-6224	F A X		0956-31-6363
業 種	建築設計・施工			
企 業 P R	当社が行なっているのは建築設計と施工。人の手で、人の想いを形にし、光と風を心と体を感じる居場所を生み出すこと、それが私たちが考える建築物です。			
スポンサー	原田 良太			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	はしもと まさき 橋本 正喜			
企 業 名	九州ひぜん信用金庫			
役 職 名	常務理事 佐世保営業部長			
企 業 住 所	〒857-0043 佐世保市天満町1-15			
T E L	0956-22-5181	F A X		0956-24-7877
業 種	金融業(信用金庫)			
企 業 P R	経営理念 ・中小企業の健全なる育成 ・豊かな国民生活の実現 ・地域社会の繁栄奉仕			
スポンサー	村上 敦子			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	ひろた かずき 廣田 和樹			
企 業 名	(株)和山			
役 職 名	代表取締役社長			
企 業 住 所	〒859-3701 東彼杵郡波佐見町折敷瀬郷 2200-1			
T E L	0956-85-2471	F A X		0956-85-6548
業 種	陶磁器製造業			
企 業 P R	オリジナリティ豊かな波佐見焼の日用食器を製造しております。			
スポンサー	松尾 慶一			

支 部 名	北松浦支部		
氏 名	よこた ひろゆき 横田 博幸		
企 業 名	(株)ミラクルあおば		
役 職 名	取締役営業部長		
企 業 住 所	〒857-0353 北松浦郡佐々町沖田免82-1		
T E L	0956-62-6573	F A X	0956-62-6573
業 種	回転寿司業		
企 業 P R	地産地消をモットーに、他店では食べることのできないようなお寿司を提供しております。		
スポンサー	上ノ原 宏二		



<交 代>

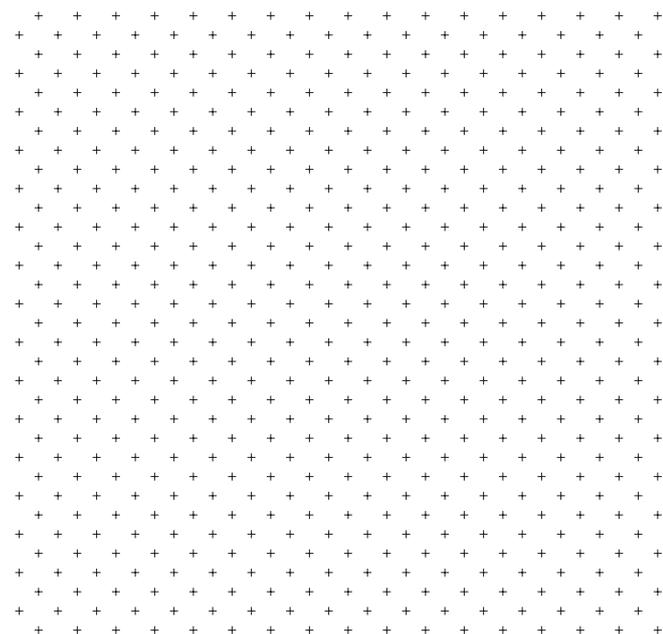
支 部 名	諫早支部		
氏 名	てらお まさあき 寺尾 昌晃		
企 業 名	(有)東友建設		
役 職 名	営業		
企 業 住 所	〒854-0204 諫早市森山町田尻2141-15		
T E L	0957-36-0660	F A X	0957-36-2778
業 種	建設業(土木)		
前 会 員	寺尾 義博		



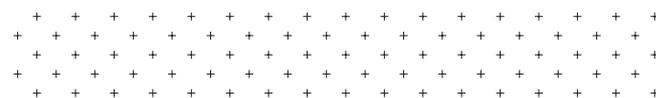
支 部 名	五島支部		
氏 名	ながた かずや 永田 和也		
企 業 名	(株)鯛福		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒853-0013 五島市上大津町304-1		
T E L	0959-72-2586	F A X	0959-72-3858
業 種	鮮魚仲卸業・運送業		
スポンサー	渡 慎吾		

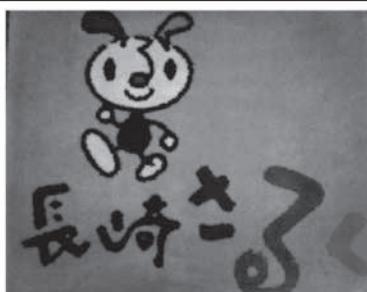


支 部 名	佐世保支部		
氏 名	きったか ゆうき 橋高 裕季		
企 業 名	(株)橋高		
役 職 名	取締役 社長室長		
企 業 住 所	〒857-1162 佐世保市卸本町25-2		
T E L	0956-32-5301	F A X	0956-31-1031
業 種	建築資材の卸売業・ドイツ製特殊接着剤マルチメタルの輸入販売		
企 業 P R	豊富な品揃え(2万点以上)と迅速なフットワークで、お客様にとって最適な商品を届けます。		
前 会 員	橋高 秀和		



支 部 名	北松浦支部		
氏 名	くまや せいいちろう 熊屋 誠一郎		
企 業 名	(有)牛蒡餅本舗 熊屋		
役 職 名	専務取締役		
企 業 住 所	〒859-5117 平戸市魚の棚町324		
T E L	0950-22-2046	F A X	0950-22-2412
業 種	菓子製造販売		
企 業 P R	創業250年の伝統の味をご賞味ください。		
前 会 員	熊屋 弘子		





新商品

長崎さるくマツト

ダスキン栄進
TEL823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎出島支部)

広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
割引	3ヶ月	6,000 → 5,000

5月例会・総会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

●長崎浦上支部

日 時 5月16日(火) 18:30
会 場 長崎新聞文化ホール アストピア
テ — マ ナンバー2からトップへの覚悟
報 告 者 (株)彩 装建 代表取締役
小川 悟 会員

家業が嫌で一度は故郷を離れたつもりが、安易な気持ちで帰郷し、家業に就く。その後思いもよらぬ困難に。その中で多くの人に出会い、学び、助けられて現在に至る。今、自分に何ができ、何をすべきか…。トップとしての覚悟を報告していただきます。

●長崎出島支部

日 程 5月24日(水)
会 場 サンプリエール
テ — マ 食の安全で世界を狙う
～アレルギー対応・無添加ピザの開発～
報 告 者 (同)HRC 代表社員
安井 忠行 会員

17才でバイトで入ったピザの世界。23才で独立しその後ZAC本部を買い取り、幾多の苦難を乗り越えながら経営を続けていた時、現在小学校3年生の次男の誕生が転機に。乳製品アレルギーを持つ次男のために着手したアレルギー対応のピザ作り。ピザ生地自体はすぐに完成したものの、お客様に安全であることを証明するためのお墨付きをもらう為に要した5年の歳月。先細りの業界の中で、アレルギー対応という強みを発見してきた発想力と、将来に向けての展望をご報告いただきます。

●大村支部

日 程 5月15日(月) 18:30
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ — マ (仮題)人材育成・わが社の風土
報 告 者 (株)浮羽園 代表取締役
生野 信一郎 会員

現在、(株)浮羽園の代表取締役として活躍されている生野さん。東京農大卒業後なんとなく進んだ造園の道、そこで庭造りの楽しさに興味を持ち修行を積む。帰郷後、家業である(株)浮羽園に入社され現場の作業以外にも設計、営業活動にも注力し、JC卒業と同時に代表取締役に就任されました。財務の事もよく理解せず経営され、徐々に経営が悪化していく中で同友会の経営指針作成セミナーに参加。理念を作り計画を立てて経営再建に取り組まれた結果少しずつ改善され現在に至る。人財不況に対応するべく社員と共に育つ経営に着手され先代から引き継いだ企業の風土をいかにして社内に浸透させていくのかをご報告いただきます。

●諫早支部

日 程 5月17日(水) 18:30
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ — マ 生業から企業へ…
～大変とは【大きく変わる】という事～
報 告 者 村上彫刻 副代表
村上 敦子 会員(佐世保支部)

個人事業として家族で営む中、創業50周年を迎えた村上彫刻。しかし、既存の取引先に依存した経営形態に甘え、マネージメントや新しい取り組みを怠っていた事により、経営環境もどんどん厳しさを増すばかりでした。これまで当たり前のように独占していた分野においても、他県同業者との競

合が始まり、彫刻から印刷への移行による売上及び利益減少…
【このまま行けば数年後には村上彫刻は無いよね…】

そんな中、学びを得る為同友会に入会し、多くの事を学んだ2年間。創業49年にして始めて出来た羅針盤、入会半年後に開催した第1回経営計画発表会、計画書に基づいた新しい分野へのチャレンジ、そして第2回経営計画発表会… 同友会からの学びを実践し、代表である主人と一緒に駆け抜けた2年間で、経営形態も大きく変わりました。同友会の先輩方からの学び、そして気付き、失敗談等、ありのままのご報告をいただきます。会員の皆様！自社経営のヒントや新たな挑戦への活力になる報告です。

●島原支部

日 程 5月19日(金) 19:00
会 場 HOTEL シーサイド島原
テ — マ 「経営指針成文化と実践の手引き」を使った勉強会
報 告 者 チェンジコンサルティング(同) 業務執行社員
宇土 敏郎 会員(大村支部)

●佐世保支部

日 時 5月19日(金) 18:30
会 場 アルカス佐世保
テ — マ 人財

●北松浦支部

日 程 5月17日(水) 18:30
会 場 サンパーク吉井
テ — マ (有)フォーワンの過去と5年計画！
報 告 者 (有)フォーワン 代表取締役
松瀬 久一 会員

起業以来一度も経営などという物考えた事も無かった創業者が、何度かの挫折を経て人と出会い、同友会に入会し先輩方より受けた刺激を基に作った5ヶ年計画を発表させていただきます。

●五島支部

日 程 5月17日(水) 18:30
会 場 未定
テ — マ 他人(ヒト)を活かしたければ自分を見よ！
報 告 者 (有)壽物産 代表取締役
永吉 誠 会員(島原支部)

報告内容は失敗談でもいいよ～との事ですので、『キレイな話はいらん！失敗談からこそ本当の学びがある！』島原支部 三田茂樹相談役からの喝と楯を胸に、過去他支部でのコムズカシイ報告を忘れて過去の仕事や現在の会社、波乱万丈な人生での失敗談を大いに交えながら島原支部メンバーには聞かせられない赤裸々話でトコトン行こうかな♪と考えております。あ、学びはほんのチョットです！(笑) よろしくお願ひいたします。
m(_)_m

●青年経営者会

日 時 5月13日(土) 19:00
会 場 ホテルJAL シティ長崎
内 容 定時総会

4月理事会 議事録 抜粋

4月7日(金) グランドファーストイン佐世保

開会挨拶-松尾代表理事

長崎同友会初の600名達成!本当に皆様ありがとうございました。これをステップに1,000名に向けて臨みたいと思います。土井共育委員長にたいへんご尽力いただいた新入社員フォローアップセミナーと合同入社式は本当に素晴らしいものでした。私たちがこの社員さん達をきちんと育てていかねばならないのだと痛感しました。本日は新理事内定の皆様もよろしくお願ひいたします。

◎30分間「公平な税制をめざして」資料勉強会

-講師 石橋財務委員長

仲間づくりについて

1)入会・退会の承認について-入会1名・退会4名を承認

【2016年度のうごき】

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	138	115	80	100	70	145	55	32	735
期首	113	88	68	73	56	122	44	25	589
入会	5	6	12	5	6	10	2	2	48
復会	0	1	1	1	1	1	0	0	5
退会	10	6	3	7	2	9	1	2	40
期末	108	89	78	72	61	124	45	25	602

【2017年度 期首】(支部移動後)

期首	110	87	79	72	61	124	44	25	602
----	-----	----	----	----	----	-----	----	----	-----

2)仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

松尾代表理事-自主目標に対して残念ながら達成された支部はありませんでした。改めてお願いします。自分達が立てた目標を達成するということが必要ではないでしょうか。来期に向けて精査してください。特に支部長各位よろしくお願ひします。

協議・承認事項

1)2017年度に向けて

①2016年度決算、2017年度予算について

→石橋財務委員長より報告あり

(4月6日に福井監事の監査受検)

-収支に関して、期首会員数確定に伴う支部活動費の確定等、詳細な説明あり。2016年度決算、監査報告を承認。2017年度予算案については、経営フォーラムに関する内容変更を含め承認。→総会へ上程。

(経営フォーラム予算変更についての三役会案)

「収入と支出の両立て」から例年通り「支出のみ100万円の計上」に変更することを提案。参加費について、「分科会・記念講演まで」と「懇親会まで」に分けて設定するという内容は踏襲するが金額の設定に関しては実行委員会で検討し理事会への提案を依頼。目標に関しても実行委員会に提案を依頼。

②第46回定時総会について

4月18日(火) ホテルニュー長崎、14:00~。

総会までの参加に関しては参加費無料、懇親会まで参加の場合、参加費を5,000円。

記念講演者 講師 熊本同友会 早咲代表理事

・記念講演テーマ

「失敗を糧に 悔しさをバネに 苦しみを優しさに変えて ~100年後の元気な熊本の未来を創る~」

2)長崎同友会ポスター作成について

デザイン案・フォントを承認

3)第24回経営フォーラムについて-提案内容を承認。予算案・動員目標を含めた企画書の来月提出を依頼

(実行委員会からの提案内容)

日程:10/13(金)

会場:長崎ロイヤルチェスターホテル

記念講演 講師:神奈川同友会

(株)湯佐和 代表取締役 湯澤 剛氏

岩実行委員長からの湯澤氏の推薦理由等

関東甲信越青年経営者フォーラムで、突然の事業承継でたいへんな苦労の中、失敗を続けながら同友会と出会い、人の大切さに気付いたという講演を聞き、たいへん感動し、ぜひ長崎の多くの方に直接聞いていただきたいと思いました。経営者自身が考え方を考えていかねばなら

投稿募集のご案内

DOYOU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数/約500字

●画像/歓迎します

掲載/情報広報委員会にて選考

投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日~20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。A3チラシは2枚分となります。ご利用お待ちしております。

いという気付ける経営フォーラムを目指しますのでよろしくお願いたします。

- 4) 中同協第29回役員研修会および九州・沖縄ブロック支部長・支部役員研修交流会について
→動員目標100名を承認

報告・連絡事項

- 1) 3月県本部・各委員会・各支部等の活動状況について
- 2) 例会について(更なる例会の充実をめざして)
- 山口例会委員長
来期は委員会を3月は年度末なので避け2月までに終わらせる予定です。
- 3) 中同協 主要行事の紹介
理事は年1回、支部役員は2年に1回は全国大会に参加しましょう！(申し合わせ事項)

5月25・26日(木・金)	中同協 役員研修会兼九州・沖縄ブロック支部長・支部役員研修交流会/大村
6月6日(火)	憲章キックオフ集会/東京
6月15・16日(木・金)	第20回 女性経営者全国交流会/富山
7月6・7日(木・金)	第49回 定時総会/愛知/松尾代表理事・横田島原支部長が報告
8月31日・9月1日(木・金)	経営労働問題全国交流会/京都
9月14・15日(木・金)	第45回 青年経営者全国交流会/茨城
10月5・6日(木・金)	組織強化・広報・情報化全国交流会/東京
10月19・20日(木・金)	第19回 障害者問題全国交流会/広島
12月7・8日(木・金)	共同求人・社員教育活動全国交流会/島根
2月8・9日(木・金)	第48回 中小企業問題全国研究集会/兵庫/キャラバン開始

※以下、広報誌に詳細を掲載いたしますのでご覧下さい。

- 4) 3月10日(金)中同協第4回幹事会参加報告(松尾代表理事、峰事務局次長)
- 5) 3月11日(土) 中同協 人を生かす経営推進会議参加報告(松尾代表理事、峰事務局次長)
- 6) 3月25日(土)第3回新入社員フォローアップ研修開催報告(土井共育委員長)

7) 4月3日(月)2017年度合同入社式開催報告(土井共育委員長)

同期の絆は素敵です。年々内容の向上の評価もいただき感謝しています。5年間たいへんお世話になりました。

松尾代表理事-合同入社式は本当に素晴らしい内容です。新入社員がいなくても今後に向けてぜひ参加して下さい。参加された方は、ぜひ支部内に良さを伝え、誘ってください。特に支部長各位よろしくお願いたします。

8) 3ヵ月会費滞納者について-なし

留意事項

- ◎2019年 中小企業問題全国研究集会(全研)について
→長崎市で開催することを決定
(2015年11月理事会)
2017年2月理事会にて準備委員長(金井副代表理事)決定
2018年2月兵庫全研よりキャラバン開始。候補日
2019年2月21・22日と2月28日・3月1日(木・金)(ランタンフェスティバル終了後)

決議事項確認

閉会あいさつ-金井副代表理事(抜粋)

たいへん活発なご討議ありがとうございました。企業経営においても「目標達成」は非常に大切です。この会場に向かう途中車内で皆で総会の声掛けをした結果、4名増となり目標達成できました。皆で声掛けをし合うという雰囲気づくりに努めて下さい。それでは総会もよろしくお願いたします。

※次回日程-5月理事会 5月8日(火)-シーハットおおむら

会員消息

●企業住所等変更

林 昭彦 会員 (長崎浦上支部)

新住所: 〒850-0901 長崎市本石灰町6-2 いろはビル6F

一ノ瀬 卓 会員 (長崎出島支部)

新会社: アート・ワン(株) 新役職: 代表取締役

植杉 友哉 会員 (長崎出島支部)

新会社: 1388(株) 新住所: 〒854-0077 諫早市白岩町7-4
新TEL番号: 090-5053-4669

松田 一成 会員 (諫早支部)

新役職: 顧問

平山 祐二 会員 (佐世保支部)

新会社: 整体院みずたま 新住所: 〒857-0131 佐世保市大野町84-8
新TEL番号: 0956-49-7117 新FAX番号: 0956-49-7117

平田 雅彦 会員 (五島支部)

新会社: (株)ライトニング五島

退会者 (敬称略)

会員名	会社名	支部名	入会年月
上野辰一郎	(有)協和会計	長崎浦上	2009年6月交代
吉崎 範子	(株)アイディアル	大村	2011年7月
高木 秀成	(有)高木石材	島原	2001年12月
船津 大輔	(有)西海物産館	佐世保	2012年10月

